

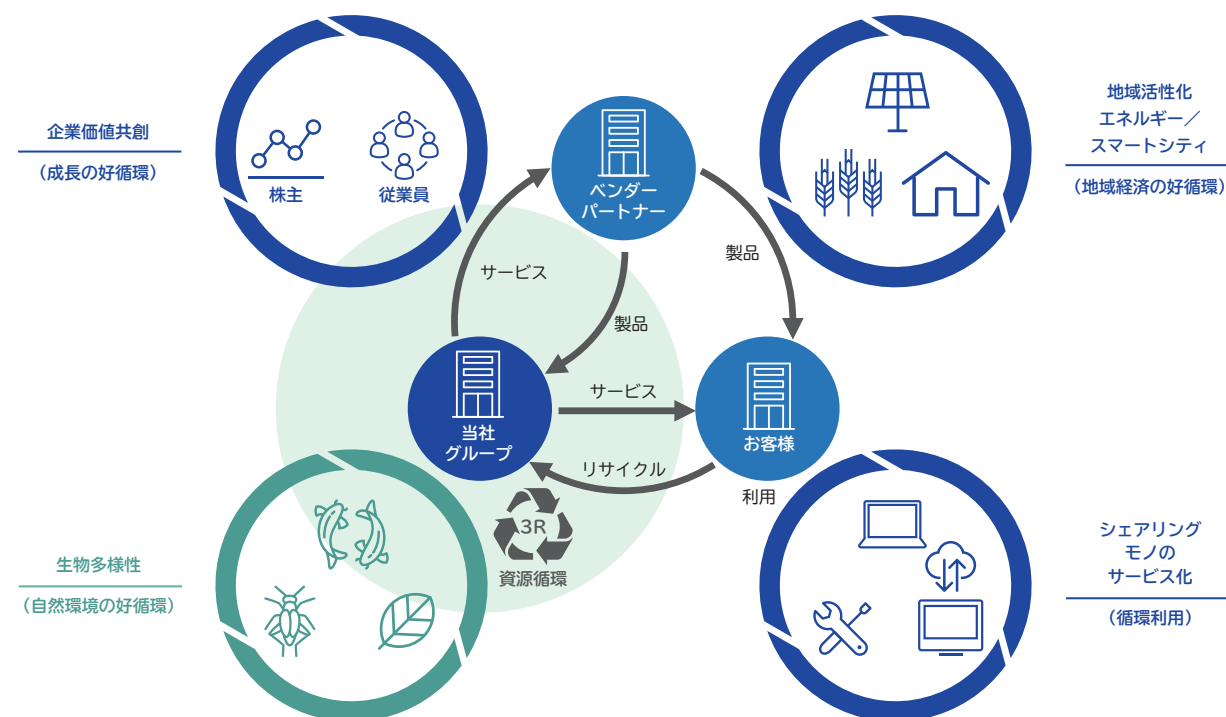
グループビジョン2030

当社が想定する2030年以降の「次世代循環型社会」は、資源効率の向上による環境負荷低減のみならず、資源を循環利用し続ける世界、そこから発展し、新たな付加価値を生み出し続ける循環型の経済社会です。当社グループは、キャピタルソリューションの革新によりさまざまな循環型サービスの創造・提供を目指してまいります。

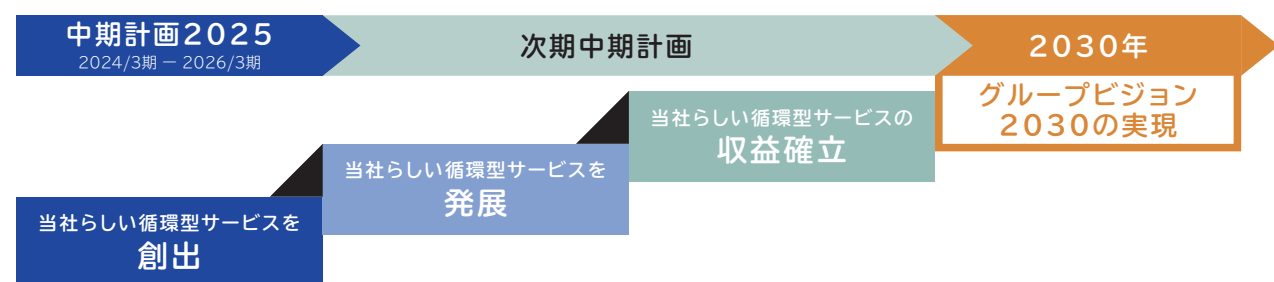
グループビジョン実現に向けて認識している重要課題をマテリアリティとして特定し、中期計画に織り込んだロードマップを作成し対応を進めています。

マテリアリティは ▶P23 へ

●「次世代循環型社会」のイメージ



●実現に向けたロードマップ



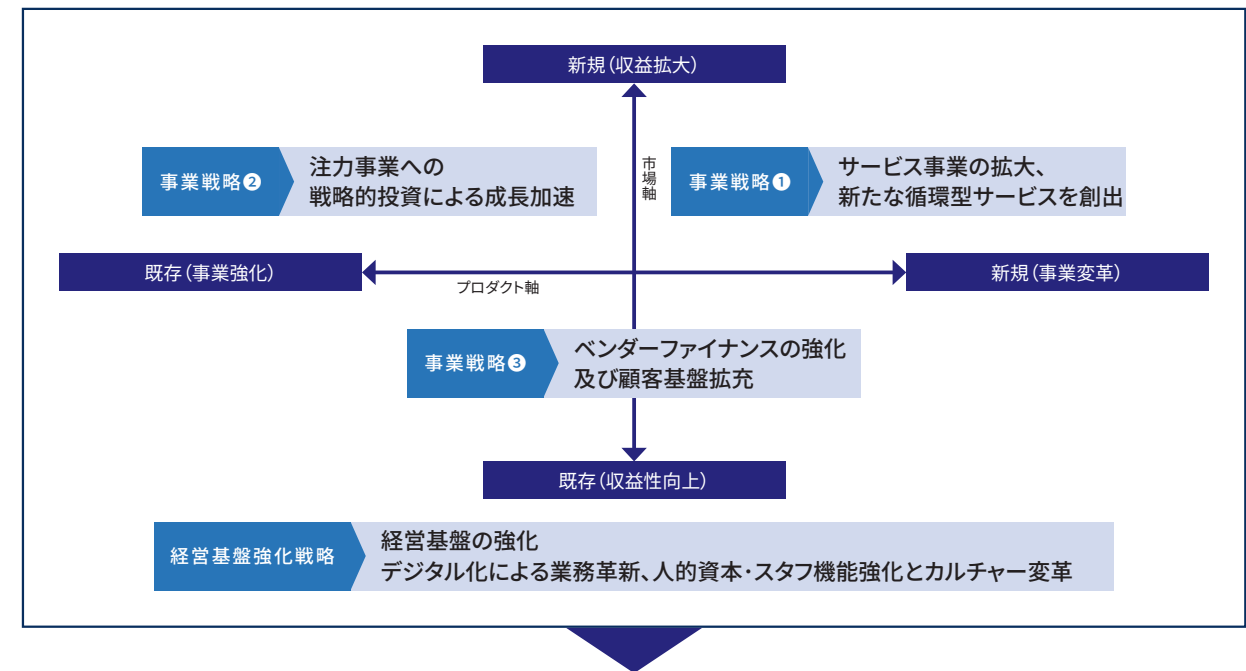
中期計画2025

中期計画2025の位置づけ

- グループビジョンに掲げる「次世代循環型社会」の実現に向け、変革に挑戦する最初の3年間
- CSV経営の実践と次世代循環型社会に向けた当社らしい循環型サービスの創出を目指す

●中期計画2025の戦略骨子

中期計画2025は、収益力の向上を目指し、市場（既存、新規）×プロダクト（既存事業の強化、新規事業の創出）の4象限で戦略を策定しています。戦略には、事業活動及び経営基盤のマテリアリティを織り込んでいます。



●財務目標

次世代循環型社会の実現を通じ、収益力向上とサステナビリティ経営の推進を加速していきます。

	2023/3期実績	2024/3期実績	2026/3期計画
親会社株主に帰属する当期純利益	64億円	70億円	100億円
ROA※	0.7%	0.7%	0.9%
ROE	6%	6%	8%

※ 連結当期純利益／連結営業資産平均残高

●非財務目標(抜粋)

中長期的な企業価値向上に向け、マテリアリティを踏まえた目標です。

	目的	目標内容	実績 2023/3期	実績 2024/3期	目標 2026/3期
環境・社会課題	カーボンニュートラル実現に向けたCO ₂ の削減	Scope1+2：2023/3期実績比削減率	157t-CO ₂	13%削減 137t-CO ₂ (オフセット含む)	20%削減
	社会インフラ整備の推進	官公庁・自治体の成約高	1,278億円	1,484億円	4,000億円※
	ICTビジネス拡大に伴う循環利用の促進	リース満了品処理台数	20万台	25万台	70万台※
	気候変動対応の推進	再生可能エネルギー発電容量（保有発電所）	43MW	59MW	100MW
	自然資本を意識した社会貢献活動の推進	学校ビオトープ教育 延べ校数	3校	3校	10校※
人的資本	従業員エンゲージメントの向上	従業員エンゲージメントスコア	21%	21%	34%
	ダイバーシティの推進	女性管理職比率	5.5%	6.7%	10%

※ 3カ年累計